



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 スタートトゥデイ
コード番号 3092 URL <http://www.starttoday.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 前澤友作

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 柳澤孝旨

TEL 043-213-5171

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	7,191	6.6	1,635	△5.0	1,630	△4.9	997	△14.5
24年3月期第1四半期	6,749	38.0	1,722	53.0	1,714	52.9	1,166	90.1

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 994百万円 (△14.8%) 24年3月期第1四半期 1,167百万円 (90.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	9.08	9.07
24年3月期第1四半期	10.62	10.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	21,788	13,257	58.6
24年3月期	23,208	13,910	57.7

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 12,771百万円 24年3月期 13,400百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,900	30.0	3,490	3.7	3,500	4.2	2,250	6.9	20.48
通期	41,700	31.1	10,440	35.5	10,450	37.2	6,370	37.5	58.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	109,880,100 株	24年3月期	109,869,300 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	— 株	24年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	109,876,658 株	24年3月期1Q	109,850,519 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会にて配布する資料はこの四半期決算短信と併に、速やかに当社ホームページにて掲載する予定です。

・平成24年7月31日(火)……機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
(4) 追加情報	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）における衣料品・アクセサリー業界は、東日本大震災に起因した消費者の買い控えや節約志向の反動もあり、緩やかではありましたが回復基調で推移しました。経済産業省から発表される商業動態統計調査をもとに当社グループで算出した同期間の衣料品・アクセサリー市場は前年同期比1.8%増加しております。

しかし一方では、債務問題に起因する欧州経済の低迷を背景にした円高及び株安傾向の継続やエネルギーコストの上昇懸念から、今後の国内景気は依然不透明と言わざるをえない状況にあります。

当社グループが属しますファッションEC市場におきましては、新たな販売チャンネルとしての認知度が高まっていることに加え、試着できない、質感が確認できないといったECサイト特有の問題点を徐々に克服していることを背景に市場拡大が続いております。

このような状況の中、当社グループは「世界中をカッコよく、世界中に笑顔を。」という企業理念のもと、ファッションやライフスタイルの提案及び情報発信を行いながら、感性豊かで温かみのある社会を実現させることを目標として、引き続き主要事業であるEC事業に注力し、「ZOZOTOWN」等のECサイトの認知度及び顧客サービスの向上に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の商品取扱高は19,140百万円（前年同期比15.0%増）となり、依然高い成長を実現させることができました。

しかしながら、サマーセール開始時期を約三週間遅らせた影響や、前第1四半期連結累計期間に実施した震災関連のチャリティーTシャツ販売の反動もあり、商品取扱高の伸び率は例年と比較して緩やかなものとなりました。また、商品取扱高のうち、販売代金の全額が会計上の売上高として計上される自社販売（買取ショップ事業）の商品取扱高に占める割合が、前年同期の15.7%から8.6%に減少しております。これは受託販売の割合を増加させ、在庫リスクをできるだけ負担しないビジネスモデルを確立させるという当社グループの方針に沿ったものではありませんが、自社販売（買取ショップ事業）の構成割合の減少の影響により結果的に売上高の前年同期比の伸び率は商品取扱高の伸び率と比較して限定的となり、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,191百万円（前年同期比6.6%増）となっております。

一方で、予約という販売手法の浸透を目的としたカタログ発行やプロモーション活動の多様化等により広告宣伝費や業務委託手数料等が増加し、販売費及び一般管理費は4,130百万円（前年同期比26.9%増）となりました。その結果、営業利益は1,635百万円（前年同期比5.0%減）となり、経常利益は1,630百万円（前年同期比4.9%減）となりました。

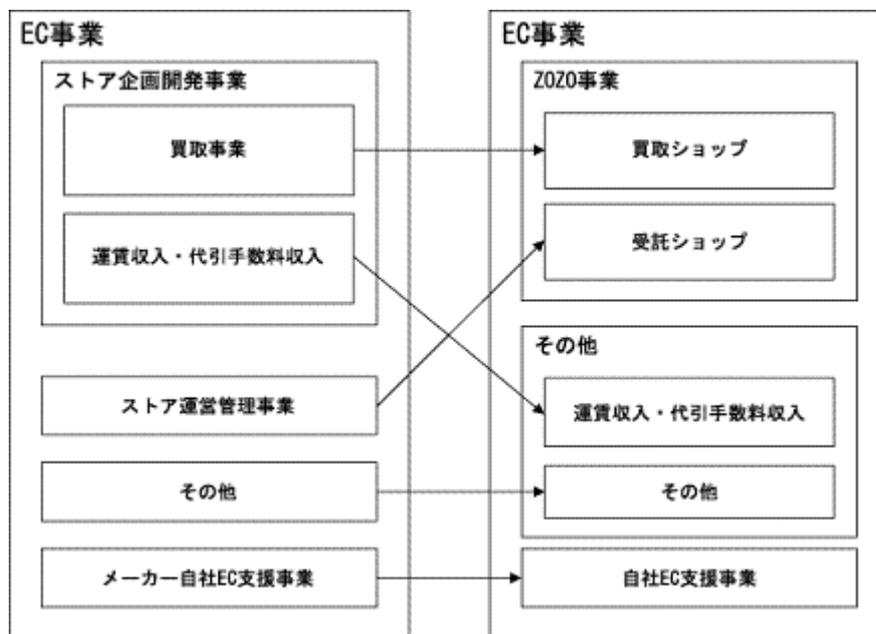
さらに、四半期純利益については、前第1四半期連結累計期間において㈱クラウンジュエルの買収に伴う段階取得に係る差益207百万円が特別利益に計上されていた反動もあり、前年同期比で168百万円減少し、997百万円（前年同期比14.5%減）となっております。

報告セグメント別の業績については以下のとおりです。

①EC事業

報告セグメントに変更はありませんが、EC事業セグメント内の各事業部門については、より実態の流通総額に沿ったものとするため、下記のとおり事業部門の名称及び区分を変更しております。

前年同期との比較は前年同期の数値を変更後の区分に組替えて行っております。



EC事業セグメントにおきましては、ECサイト「ZOZOTOWN」等の運営を行うZOZO事業及びアパレルメーカーの自社EC支援事業を行っております。ZOZO事業においては、当社が各ブランドからファッション商材を仕入れ、自社在庫を持ちながら販売を行う買取ショップ事業と、当社が各ブランドの商品を受託在庫として預り、受託販売を行う受託ショップ事業の2つの事業形態で構成されております。ZOZO事業において今後も継続的に商品取扱高を拡大していくためには、取引先の拡大及び商品供給量の増大が必要となります。第1四半期連結累計期間においては、「TOPSHOP」「TOPMAN」「CROCS」「L' OCCITANE」等53ショップが新規出店いたしました。

その結果、平成24年6月末現在の総ショップ数は、「ZOZOTOWN」「ZOZOVILLA」と合わせて439ショップとなっております。

また、当第1四半期連結累計期間の「ZOZOTOWN」の購入者数は771千人（前年同期比108千人増）となり、平成24年6月末時点の「ZOZOTOWN」の会員数（注）は4,530千人（前連結会計年度末比233千人増）となっております。

しかしながら、サマーセール開始時期を約三週間遅らせた影響や、前第1四半期連結累計期間に実施した震災関連のチャリティーTシャツ販売の反動もあり、EC事業の商品取扱高（販売価格ベース）は19,140百万円（前年同期比15.0%増）と例年と比較して緩やかな伸び率となりました。EC事業セグメントの売上高は6,998百万円（前年同期比3.7%増）となり、売上全体に占める割合は97.3%となりました。また、営業利益は1,677百万円（前年同期比2.6%減）となりました。

（注）平成24年6月末現在の会員数には、会員登録を行わずに商品を購入したゲスト購入者の人数は含まれておりません。前連結会計年度末比の増減数についても同様に、ゲスト購入者数の変動の影響を除外して算定しております。

EC事業セグメント内の各事業別の業績は以下のとおりです。

(ZOZO事業)

i. 買取ショップ事業

平成24年6月末現在、買取ショップ事業では40ショップを運営しております。当第1四半期連結累計期間の商品取扱高（販売価格ベース）は1,646百万円（前年同期比37.0%減）、商品取扱高全体に占める割合は8.6%となりました。売上高は商品取扱高と同額の1,646百万円（前年同期比37.0%減）となりました。

ii. 受託ショップ事業

平成24年6月末現在、受託ショップ事業では399ショップを運営しております。当第1四半期連結累計期間の商品取扱高（販売価格ベース）15,231百万円（前年同期比22.1%増）、商品取扱高全体に占める割合は79.6%となりました。売上高（受託販売手数料）は4,210百万円（前年同期比27.1%増）となりました。

(自社EC支援事業)

平成24年6月末現在、自社EC支援事業では22社のECサイトを受託・運営しており、当第1四半期連結累計期間の商品取扱高（販売価格ベース）は2,262百万円（前年同期比45.4%増）、商品取扱高全体に占める割合は11.8%となりました。売上高（受託販売手数料）は596百万円（前年同期比45.6%増）となりました。

(その他)

EC事業内のその他の事業としてはEC事業に付随した事業（運賃収入及び代引手数料収入、テナント出店の際の初期出店料等）の他、前連結会計年度に設立した子会社ZOZOTOWN HONGKONG CO., LIMITED、走走城(上海)電子商務有限公司が運営する中国事業があります。中国事業においては中国最大のショッピングサイトである「タオバオモール」に「ZOZOTOWN」を出店しており、あわせて独自に「ZOZOTOWN.cn」を開設しております。

当第1四半期連結累計期間におけるその他の売上高は545百万円（前年同期比31.1%増）となりました。

②オークション事業

オークション事業セグメントにおきましては、オークションサイト「CROWN JEWEL」を運営しております。当第1四半期連結累計期間の売上高は193百万円、売上高全体に占める割合は2.7%となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,599百万円減少（前連結会計年度末比7.7%減）し、19,278百万円となりました。主な増減要因としては、配当金の支払いや法人税等の納付により現金及び預金が前連結会計年度末に比べ1,924百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ179百万円増加（前連結会計年度末比7.7%増）し、2,510百万円となりました。主な増減要因としては、敷金の増加214百万円等によるものであります。

以上の結果、総資産は前連結会計年度末に比べて1,419百万円減少し、21,788百万円（前連結会計年度末比6.1%減）となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ784百万円減少（前連結会計年度末比9.0%減）し、7,923百万円となりました。主な増減要因としては、受託販売預り金の増加466百万円、未払金の増加344百万円、未払法人税等の減少1,501百万円等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ17百万円増加（前連結会計年度末比3.0%増）し、607百万円となりました。主な増減要因としては、退職給付引当金の増加17百万円等によるものであります。

以上の結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて766百万円減少し8,531百万円（前連結会計年度末比8.2%減）となりました。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べ653百万円減少（前連結会計年度末比4.7%減）し、13,257百万円となりました。主な増減要因としては、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加997百万円、剰余金の配当による減少1,648百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年4月26日に発表いたしました平成25年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予測数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(返品調整引当金)

商品の返品に係る損失に備えるため、過去における返品実績を基準として将来見込まれる返品に係る損失額を計上しております。

当社では、前連結会計年度の期首より返品受付を開始しており、従来、連結決算日後の一定期間内に受けた返品については、当該連結決算日に係る連結会計年度の売上高の控除として処理しておりました。

しかし、返品受付開始以降一定期間が経過し、将来見込まれる返品に係る損失額を合理的に見積もるための実績データが蓄積されたこと及び返品に係る損失の重要性が増加してきていることから、将来の返品による損失に備えるため、当第1四半期連結累計期間より、将来見込まれる返品に係る損失額を返品調整引当金として計上しております。

これにより従来の方法によった場合に比べて売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ7,466千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,888,792	11,964,387
売掛金	5,031,929	5,492,717
商品	1,239,806	1,115,125
その他	716,994	705,977
流動資産合計	20,877,523	19,278,208
固定資産		
有形固定資産	810,267	810,251
無形固定資産		
のれん	641,123	603,410
その他	261,074	254,842
無形固定資産合計	902,197	858,252
投資その他の資産	618,429	841,810
固定資産合計	2,330,894	2,510,315
資産合計	23,208,418	21,788,523
負債の部		
流動負債		
買掛金	590,594	298,727
受託販売預り金	4,214,570	4,680,606
未払法人税等	2,200,470	698,627
賞与引当金	138,932	201,774
ポイント引当金	502,583	486,512
返品調整引当金	—	21,305
その他	1,060,597	1,536,006
流動負債合計	8,707,749	7,923,559
固定負債		
退職給付引当金	357,546	374,695
資産除去債務	115,093	115,559
その他	117,649	117,486
固定負債合計	590,288	607,740
負債合計	9,298,038	8,531,300
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,359,309	1,359,546
資本剰余金	1,327,498	1,327,732
利益剰余金	10,715,047	10,064,649
株主資本合計	13,401,854	12,751,929
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,478	△2,077
為替換算調整勘定	2,792	22,068
その他の包括利益累計額合計	△1,686	19,990
新株予約権	3,107	2,743
少数株主持分	507,103	482,559
純資産合計	13,910,379	13,257,223
負債純資産合計	23,208,418	21,788,523

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	6,749,593	7,191,797
売上原価	1,772,179	1,403,956
売上総利益	4,977,414	5,787,840
返品調整引当金繰入額	—	21,305
差引売上総利益	4,977,414	5,766,535
販売費及び一般管理費	3,255,020	4,130,950
営業利益	1,722,393	1,635,584
営業外収益		
受取利息	1,732	1,804
受取配当金	310	—
その他	878	1,974
営業外収益合計	2,921	3,778
営業外費用		
為替差損	4,125	8,377
持分法による投資損失	6,653	—
営業外費用合計	10,779	8,377
経常利益	1,714,535	1,630,986
特別利益		
投資有価証券売却益	5,443	—
段階取得に係る差益	207,631	—
特別利益合計	213,074	—
特別損失		
固定資産除売却損	7,041	9,796
特別損失合計	7,041	9,796
税金等調整前四半期純利益	1,920,569	1,621,190
法人税、住民税及び事業税	921,378	686,087
法人税等調整額	△167,359	△20,723
法人税等合計	754,019	665,364
少数株主損益調整前四半期純利益	1,166,550	955,825
少数株主損失(△)	△42	△41,816
四半期純利益	1,166,592	997,641

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,166,550	955,825
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,690	2,401
為替換算調整勘定	△471	36,547
その他の包括利益合計	1,218	38,949
四半期包括利益	1,167,768	994,775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,168,033	1,019,318
少数株主に係る四半期包括利益	△264	△24,543

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。